

【園評価考察】

1. 保護者アンケートについて

今年度も設問は昨年とほぼ同じもので実施したため、前年度との比較をしてみました。「A」と「B」を合わせた肯定的評価の割合が、ほとんどの項目に対して昨年と変わらぬ高い評価をいただきました。このように高い評価をえられたのは、開園から3年目になり園児もこども園の環境になれ、落ち着いて生活できてきたこと、昨年度の反省を活かしながら、園の研修テーマでもある「夢中になって遊ぶ子～観る・待つ・心に寄り添う援助」を職員間で意識して取り組んできたこと。また乳児会議・幼児会議・週案会議・個別対応などの充実を図ることに努めた結果だと思います。

今後も保護者の皆さまからいただいたアンケート(運動会・発表会も含め)を参考に改善に努めると共に、園の保育、教育方針や内容を保護者の皆様にご理解いただけるようにお伝えする方法も考えていきたいと思います。

2. 職員アンケートについて

職員アンケートは職員・保護者の比較をしました。職員の自己評価が保護者のものよりと昨年との比較でも下回っていた保育方針、目標の項目について職員が意識してきた為、前年度より評価が厳しくなったと考えられます。部署の目標として行ってきた「一人一人が報告・連絡・確認をしてチーム力の向上を目指す」の反省からも、連絡、報告に心がけるようにしてきたが意識していない職員も見られた。また一部の職員間ではできいても全体に報告されなかったり、幼児組と乳児組との連携がうまく取れないところがあった。これらを課題として今後もチーム力の向上を目指して努力していきたいと思います。

3. 園評価委員アンケートについて

本年度は園内研修としての公開保育にも参観していただき、温かい評価をいただき職員の励みになりました。まだまだ行き届かないところがあるかと思いますが、今後一層精進してより良い園を目指していきたいと思います。また、改善すべきこと等のご指導をいただければと存じます。